

# 「すいえんくん」とCO<sub>2</sub>の削減について

天羽 則博 (あもう のりひろ) (株)アモウ 代表取締役

## 1. はじめに

当社は「じん肺災害と肺炎を撲滅し空間性能を向上させ、且つCO<sub>2</sub>を削減することにより社会問題を解決し、地球環境を守り社会貢献する企業となる。」ことを経営理念とし、今年で4月で創立10周年を迎えた。

創業当初は病院等のファシリティ事業を中心にエネルギーソリューション事業を展開してきた。当社が手掛けた、札幌市内K病院(急性期272床、延べ床面積23,000m<sup>2</sup>)における年間水光熱費は、年間87,000千円と、同規模他病院の1/2である。

当社は、このように病院の「空気質」や「エネルギー」に携わってきた中で、多くの病院が「におい」や「院内感染」、「乾燥」に悩んでいることに気がついた。そういった悩みを解決するため、人に優しく自然で身近な空気中の水に着目した。安全で、低コストで

省エネルギーにもなる、ニーズに複合的に対応できる製品をと開発したのが「すいえんくん」である。

「すいえんくん」は当社が独自開発した、水の超微細化クラスター技術を用いた空気清浄システムである。この技術は空気中に超微細水を隅々まで放出し、浮遊している細菌・臭気・埃を超微細水に吸着・溶解させ空気中の汚れを凝縮し、汚染水として回収すると同時に湿度を一定に保湿できるという特徴がある(図1)。細かく破碎された水の粒子は同程度の大きさの粒子と吸着する性質を持つ。この水の性質を利用した空気清浄システムが「すいえんくん」である。

ここでは、病院・福祉施設、喫煙室、トンネル工事現場の各場所において「すいえんくん」がどのような効果を発揮するかをご紹介します。



図1 すいえんくんの仕組みと商品写真